

【報告】本庁舎等建設検討市民説明会

次のような

ご意見、ご質問がありました。

本庁舎建設検討の経過、必要性などを説明する「本庁舎等建設検討市民説明会」を2月26日から3月6日にかけ、開催しました。この説明会で皆さんから頂いた主な意見や市の回答内容を紹介します。



3月3日 三郷公民館

【本庁舎建設に対する賛成意見】

（意見） 現在の8カ所に分かれていた分庁方式では、市民があちこちに行かなければならない。このことの解消や市民の一体感醸成のためにも早急に進めてほしい。
（意見） これから地方自治を進めていくうえで、地方分権は遅れているが、やはり地方の時代であると思う。市町村合併もその一環であると思う。市町村合併の理念を考えるうえで一日も早く市のシンボルとなる本庁舎建設を進めて

ほしい。分庁方式のために年間に1億円もの無駄なお金を使っているということは、経常収支比率を下げるうえでも極めて重要であり、その分を建設的経費や福祉にまわすことができる。
（意見） 職員のために庁舎を建設するのではない。庁舎が8カ所に分散されているため、例えば産業観光部に行つて、都市建設部に行く場合には、本来なら一つの庁舎で用が足りるのに、今は三郷へ行つて、豊科へ行くことになるので市民にとっても効率が悪い。財政面でも年間1億円の経費が分庁

のためにかかっている。その分を借金の返済に充てるなどと考ええると建設の意味が出てくる。合併特例債が利用できる期間内にぜひ建設を進めてほしい。

（意見） 庁舎の問題は合併協議会の時も話題になった。具体的なことは合併後に引き継がれた。旧役場などを使って職員を8カ所に分けたわけである。しかし、これはあくまでも仮住まいであり、支所機能は旧役場にあるが、本庁機能は狭いところに押し込まれている。これでやってみたら問題点が多く出てきたことから市の検討委員会でも議論されてきた経過がある。車の両輪ともいえる理事者と議会が別々の建物というのもおかしい。安曇野市は10万人都市であり県内でも6番目に大きな市である。どうしても核となる庁舎は必要である。

（意見） 本庁舎の建設は必要である。本来本庁舎でやらなければいけない仕事は8カ所に分散しているの、このままでいい訳はないと思う。支所も明科、豊科は耐用年数が過ぎているので建て替えをしなければならぬ時期に来ている。その前にまず本庁舎を建てなければいけないと思う。建設時期

も合併特例債を活用しないと市民負担が増えるので活用してほしい。
（市の回答） 以上のご意見は意見として承る。

【本庁舎建設に対する反対意見】

（意見） 分庁方式のため移動に要する経費が約1億円かかるというところだが、インターネット等の利用により移動しなくても会議はできると思う。民間ではこの活用によりコスト削減をしている。

（市の回答） パソコンを活用してできることはやっていきたい。現在でも庁内LANなどを活用しているが、行政の仕事は、市民と直接会話することにより肌で気持ちを感じながら、市民に満足感を与えられることが大切である。

（意見） 庁舎については、合併協議の中で新市になったら考えられるということであった。庁舎を新しく建設するという約束はなかったと思うが、現在は建てる方向で動いている。市民側から本庁舎建設の方向で進めてほしいと思う。つまり行政主導で進んでいる。1

00年に一度の不景気である。高齢者、国保税、介護保険料が上がる中で生活は大変である。既存施設を使って経済効率を図り市民負担を増やさないようしてほしい。県の安曇野庁舎も利用してほしい。

（市の回答） 既存施設の活用については、建設審議会においても検討している。現在の市有地だけでは、容積率などの関係で難しいという結論になっている。周辺を買収した場合の検討も進めている。周辺の家屋の移転補償、営業補償の問題もある。

（意見） 新しい場所に大きな新庁舎を建設することには反対である。新庁舎ができて、3階に行けとかたらい回しになると思う。本庁舎ができればあちこちに行かなくてもよくなるということだが、職員の対応の仕方でもできることもせず、税金や国保が上がる中で本庁舎建設をするというのは理解できない。庁舎建設の前に職員としての意識を変えてほしい。

（市の回答） ワンストップサービス（※）についても、本庁舎建設と同時に検討している。来ていただいた市民にどの位満足して帰っていただけるかが大切であり、その

【本庁舎の機能、建設場所等について】

（意見） 新庁舎の機能として太陽光発電を導入し、エコや環境に配慮してほしい。

（市の回答） 市民アンケートからもエコ、環境に配慮した庁舎の希望が多いので、実施設計などに進む段階では考慮していきたい。



3月5日 穂高会館